

春の大館を激走 (4月29日)

山田記念ロードレース大会が、長根山陸上競技場を発着点とする市街地コースで行われました。

この大会は、昭和28年4月20日に開催された第57回ボストンマラソン大会で、当時の世界新記録で優勝した当市出身の山田敬蔵さん(名誉市民)の偉業を記念し開かれているもので、今年で61回目。

大会には全国各地からたくさんの方々が参加し、春の大館路を駆け抜けました。



大勢のランナーが駆け抜けました

秋田犬の本部展 (5月3日)

国の天然記念物に指定されている秋田犬の第128回本部展(秋田犬保存会主催)が、桂城公園で開催されました。

年齢や性別で区切られた12部門に全国の愛犬家が手塩に掛けて育てた秋田犬約180匹が参加し、日本一を目指して容姿や気品などを競いました。

ロシアのプーチン大統領に秋田犬「ゆめ」が贈呈されたこともあってか秋田犬の人気は高まるばかり。当日は雨の降る天気にもかかわらず、たくさんの方々が会場に詰め掛けていました。



りりしい立ち姿

比内鶏・金八鶏展覧会 (5月4日)

県声良鶏・比内鶏・金八鶏保存会が主催する、秋田県比内鶏・金八鶏展覧会が市民体育館で開催され、市内外の飼育者が出展した鶏の容姿の美しさを競い合いました。

展覧会は、比内鶏・金八鶏の普及のために毎年開かれているもので、審査員が羽の色や体形などを入念に審査。会場を訪れた市民は、審査の様子や、普段見ることのできない鶏たちをじっくりと観察していました。



一羽ずつ入念に審査

野鳥観察会 (5月6日)

第10回野鳥観察会がいきいきふれあいセンター周辺で開催され、新緑と早朝のさわやかな空気の中で、野鳥観察を楽しみました。

この観察会は、故郷の野鳥や自然に関心を持ってもらおうと毎年開催されているもので、今年は16人が参加。

野鳥のさえずりが聞こえると、参加者はその方向を双眼鏡などでぞき、野鳥を探索。ヤマドリやアカゲラなど15種の野鳥を観察し、その可愛さに見入っていました。



あそこにいるよ!

丸屋惺元大館市助役が逝去

謹んで哀悼の意を表します



元大館市助役の丸屋惺氏が、5月9日に逝去されました。

丸屋氏は、昭和54年から市の助役として約12年間市長を補佐。下水道事業や農業集落排水事業の

開始、日本海沿岸東北自動車道の秋田県北部内陸ルート期成同盟会の設立などに尽力されました。

また、教育文化面にも造詣が深く、市民文化会館の建設に携わられたほか、立ち遅れていた市の芸術文化向上のために卓越した手腕を発揮されました。ここに謹んで哀悼の意を表します。